



一般介護予防事業等の
推進方策に関する検討会
(第2回)

資料2

令和元年7月3日

20190703 厚生労働省老健局 一般介護予防事業等の推進方法に関する検討会

「ふつうに暮らせるしあわせをどう支えるか」 豊明市の介護予防事業を通じた地域づくり戦略

地域包括ケア「豊明モデル」けやきいきいきプロジェクト

豊明市 健康福祉部 健康長寿課

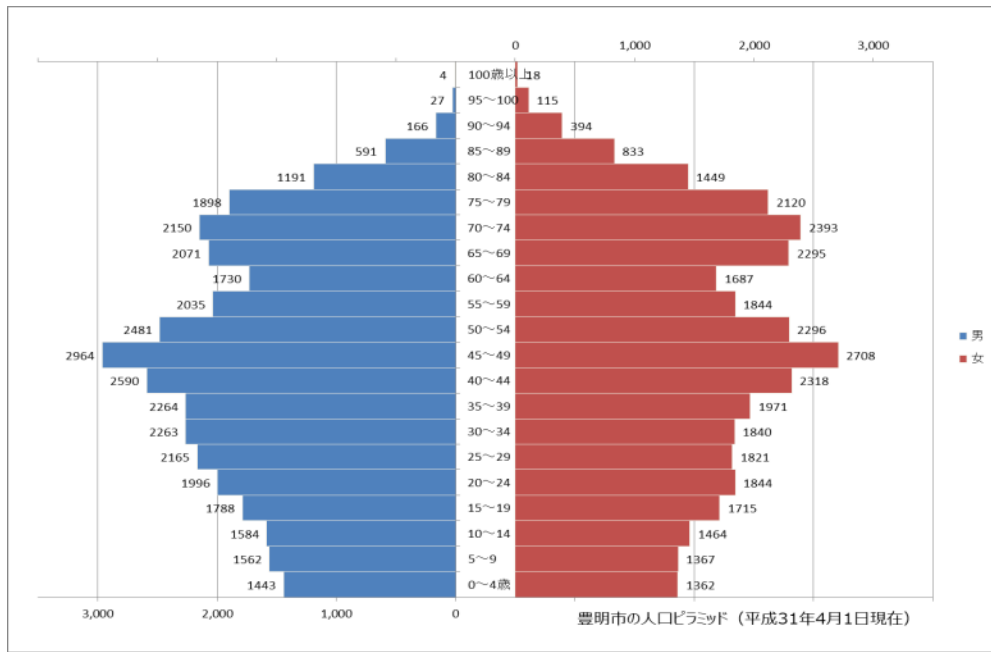
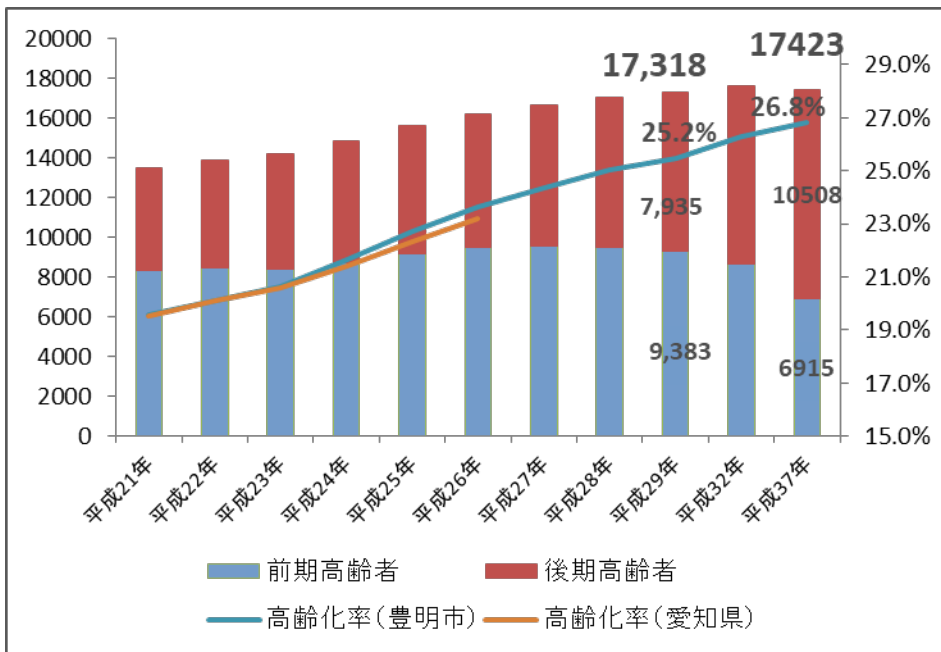


目次

- 1 総合事業の実施状況
- 2 本市の介護予防政策の方向性
- 3 介護予防につながる地域づくり

豊明市の概況

- ・愛知県のほぼ中央に位置する名古屋市ベッドタウン
- ・人口 68,817人 (29,864世帯)
- ・高齢者人口 17,715人 (平成31年4月1日現在)
- ・高齢化率 **25.7%** (県高齢化率より高い)
- ・人口構成は、前期高齢者に人口の山があり、
今後10年の後期高齢者の伸びが著しい地域特性



豊明市の医療・介護資源

医療資源

病院 3 (一般病床1,435、回復期床60、療養28)

藤田医科大学病院、豊明栄病院

桶狭間病院藤田こころケアセンター

診療所 39、歯科 39、薬局 25、訪看 5、訪リハ 4

関連師会

- ◆ 医師会 : 東名古屋豊明市医師会
- ◆ 歯科医師会 : 愛豊歯科医師会豊明支部
- ◆ 薬剤師会 : 日進東郷豊明薬剤師会

介護資源

特別養護老人ホーム 4 (259床)

老人保健施設 2 (448床)

訪問介護 5, 通所介護 11

小規模多機能居宅介護 1

認知症対応型共同生活介護 4 (5ユニット)

定期巡回随時対応型訪問看護介護 1

居宅介護支援事業所 13

地域包括支援センター 3 (委託)



藤田医科大学病院

許可ベッド数 : 1,435 床

平均在院日数 : 15,2 日

平均外来患者 : 約 2,100 人/日

医療従事者 : 約 2,600 人

年間手術件数 : 約 11,000 件

退院調整依頼 : 1,500 件/年

年間退院患者数 : 約25,000人

1つの医療施設としては我が国最多を誇る病床
を持つ厚生労働省が定める特定機能病院

豊明市を取り巻く社会変化

◇背景

- ・大都市近郊の高齢化の典型、**後期高齢者人口の著しい増加**
- ・**豊明団地**を中心に**独居高齢者・高齢者のみ世帯**の増加
- ・急激に増え続ける**医療・介護ニーズ**
- ・大都市近郊、自動車関連産業の好調により**高水準の有効求人倍率**

◇課題

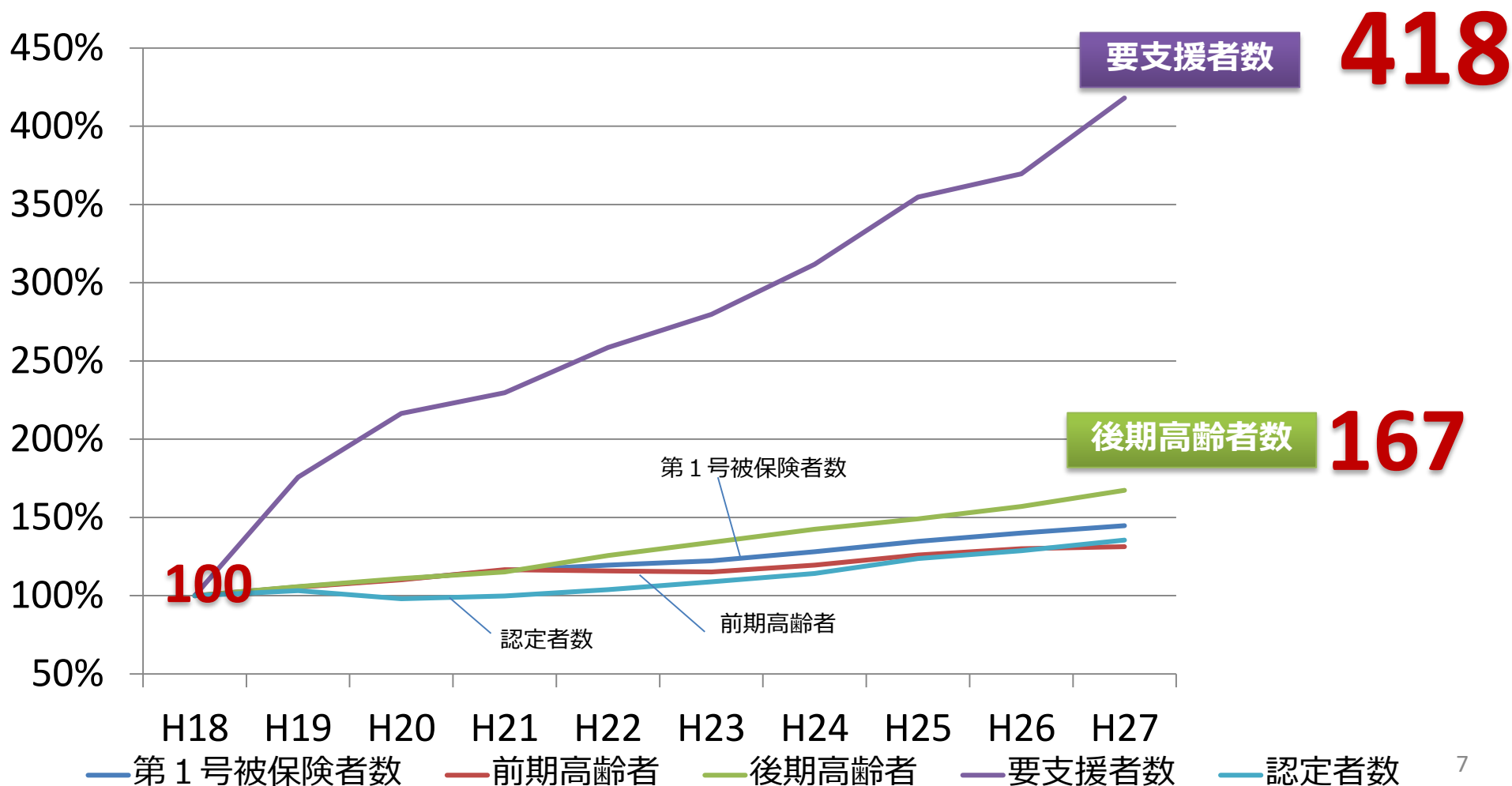
- ・医療介護を担う**人材の確保困難**
- ・**在院日数の短縮**、繰り返す入退院
- ・全国平均、県平均を上回る一人あたりの**医療費**
- ・団塊の世代を**要介護状態にさせない、重度化させない**仕組み

豊明市の近年の取り組み

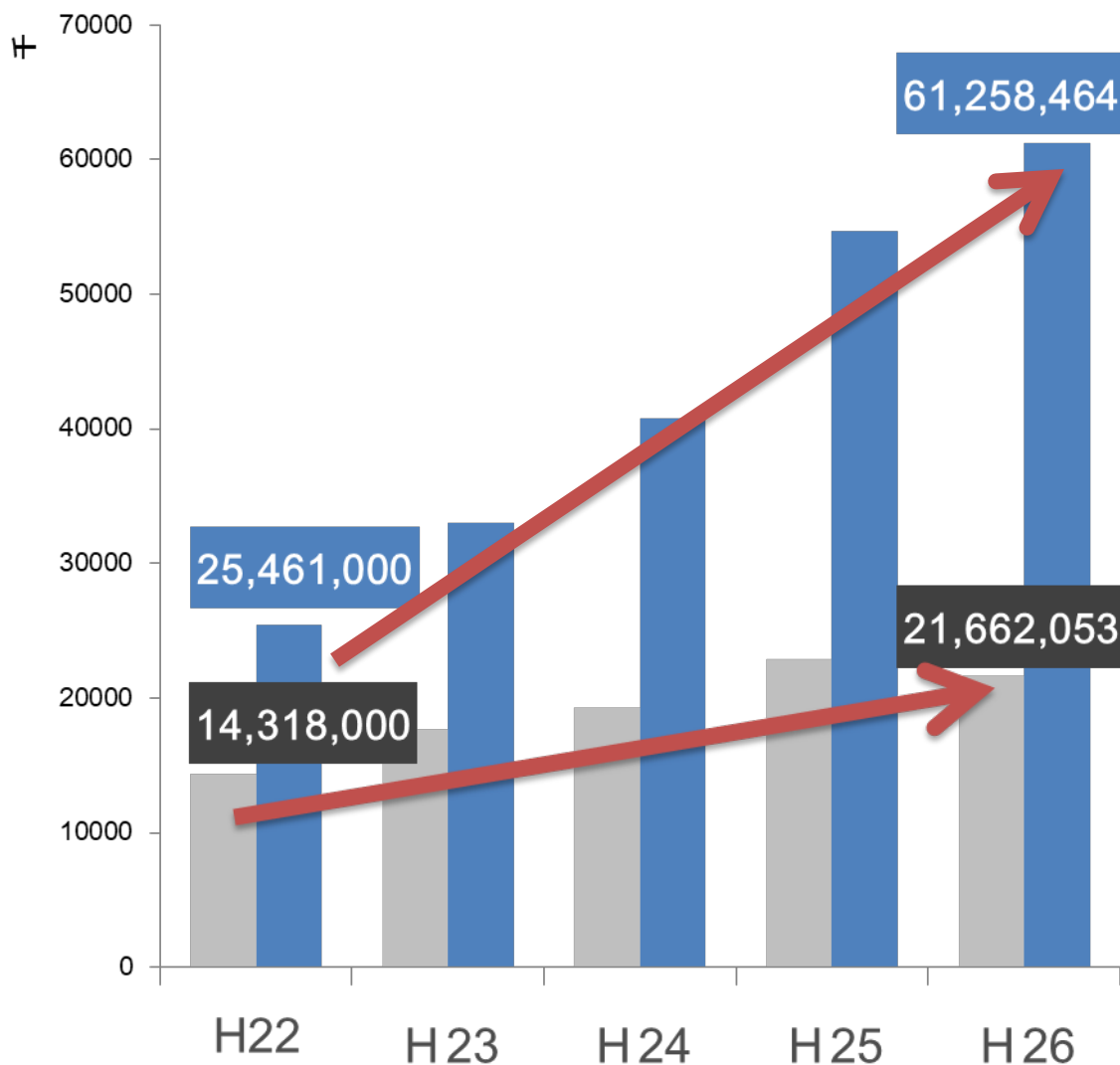
	医療介護連携	地域包括ケア全般	総合事業	認知症総合支援事業	生活支援体制整備	地域リハビリテーション	地域ケア会議
H23	電子@連絡帳導入						
H26	ICTによる情報共有基盤整備	人材育成研修モデル事業	在宅医療連携拠点推進事業	愛知県地域包括ケアモデル事業			
H27	人材育成事業継続 地域の職能団体組織化支援		豊明団地 けやきいきいきプロジェクト開始	前倒し移行	<ul style="list-style-type: none"> 地域支援推進員配置 認知症初期集中支援チーム 試行実施 	<ul style="list-style-type: none"> 第1層生活支援コーディネータ配置 協議体準備 	市オリジナル体操制作
H28	リハビリ・看護師・介護支援専門員の連絡協議会設立			本稼働	公的保険外サービス取組開始		多職種合同ケアカンファレンス
H29						<ul style="list-style-type: none"> リハ同行訪問開始 	6

豊明市の高齢者と認定者数の推移

要支援者数は後期高齢者数の伸びを**はるかに上回る勢い**で増えている。



要支援者の通所・訪問サービス給付費の推移



5年間で

介護予防通所介護

2.5倍

(年平均伸び率35%)

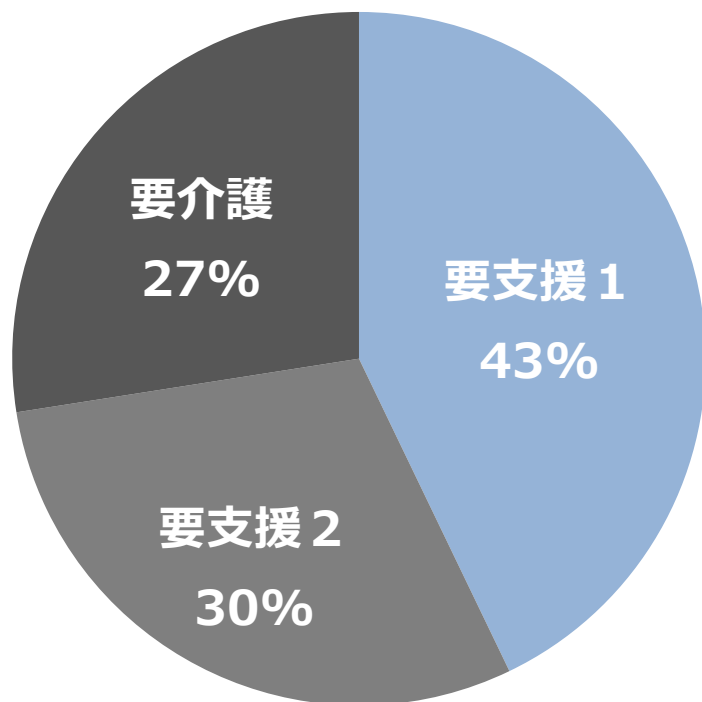
介護予防訪問介護

1.5倍

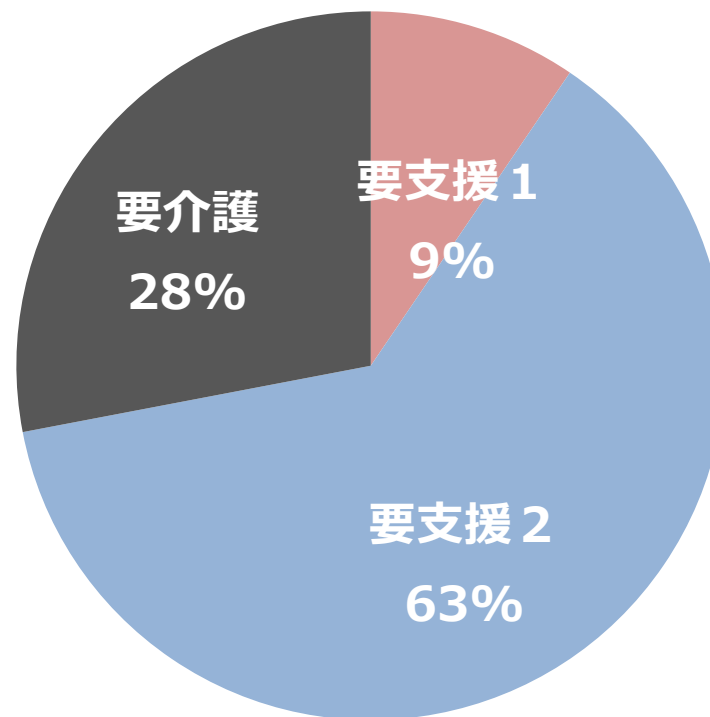
(年平均伸び率12.8%)

総合事業開始前 要支援者のサービス利用 1年後重度化率

要支援 1



要支援 2



要支援 1 の 2 人に 1 人、要支援 2 の 4 人に 1 人以上が
わずか 1 年後に重度化している

要支援者のサービス利用 1年後重度化率の比較

			平成28年3月			
			要支援1	要支援2	要介護 1・2	要介護 3～5
豊 明 市	平成27年 3月	要支援1	42.9%	29.7%	26.4%	1.1%
		要支援2	9.5%	62.5%	26.2%	1.8%
全 国	平成27年 3月	要支援1	67.9%	19.9%	11.2%	1.0%
		要支援2	11.3%	67.5%	19.2%	2.2%

要支援者は
1年後に

要支援1の

57%が重度化

27%は要介護

要支援2の

28%が要介護

全国値よりきわめて
高い重度化率

※平成27年度 介護給付費実態調査の概況

表4 要介護(要支援)状態区分別にみた年間継続受給者数の変化別割合

豊明市の総合事業のコンセプト

平成28年3月総合事業移行。
 通所事業は、高い専門性を持つ理学療法士等による短期集中的なリハビリ（短期集中C型）を中心に据え、
 3か月から6か月（全30回）で日常生活に戻すプログラムを標準支援とした。

市内23会場で地域運営のまちかど運動教室（一般介護予防事業）



市内デイケア事業所による質の高いリハビリ提供（総合事業 短期集中C型）

訪問と通所の組み合わせにより生活行為の自立を目指す



一時的な活動追加

PLUS 集中介入期(非日常)

元気アップ集中リハビリ
 地域リハビリテーション活動支援事業



日常生活へ移行

以前の暮らし
 普段していたこと
 しなくなったこと

BASIC 生活期(日常)

- ・まちかど運動教室・サロン
- ・普段の家事等の役割
- ・趣味、日課、友人づきあい
- ・市場サービスの利用
 (フィットネスクラブ、ショッピング、娯楽、喫茶店、温泉、旅行)



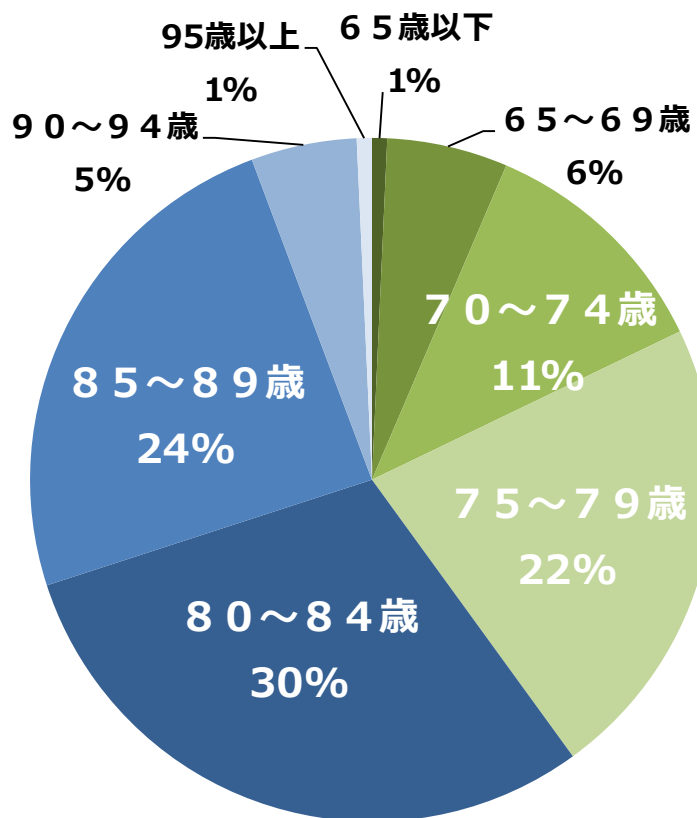
専門的支援 Start

3 ~ 6Month

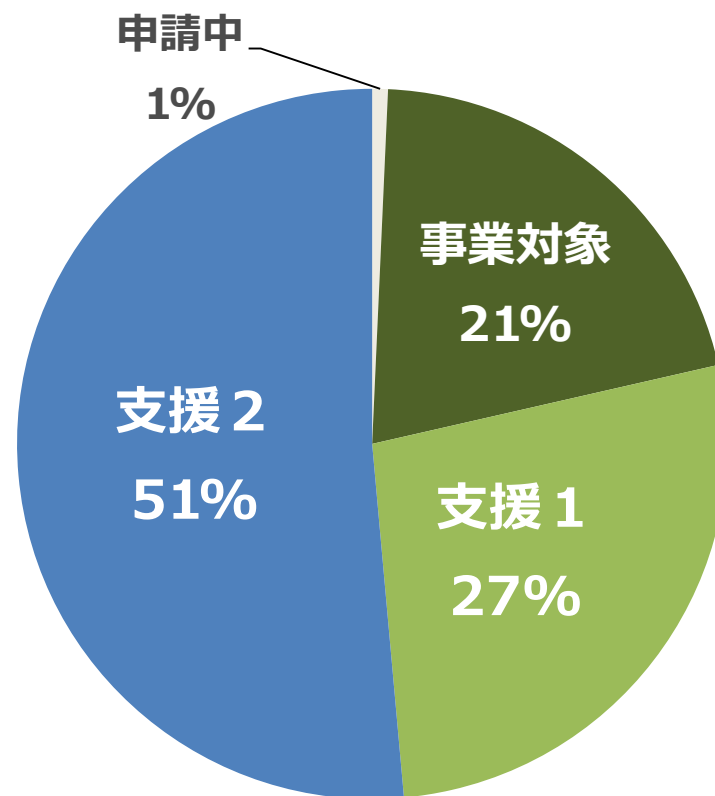
1Year

H29新規契約全ケースの属性 (n=140)

年齢構成

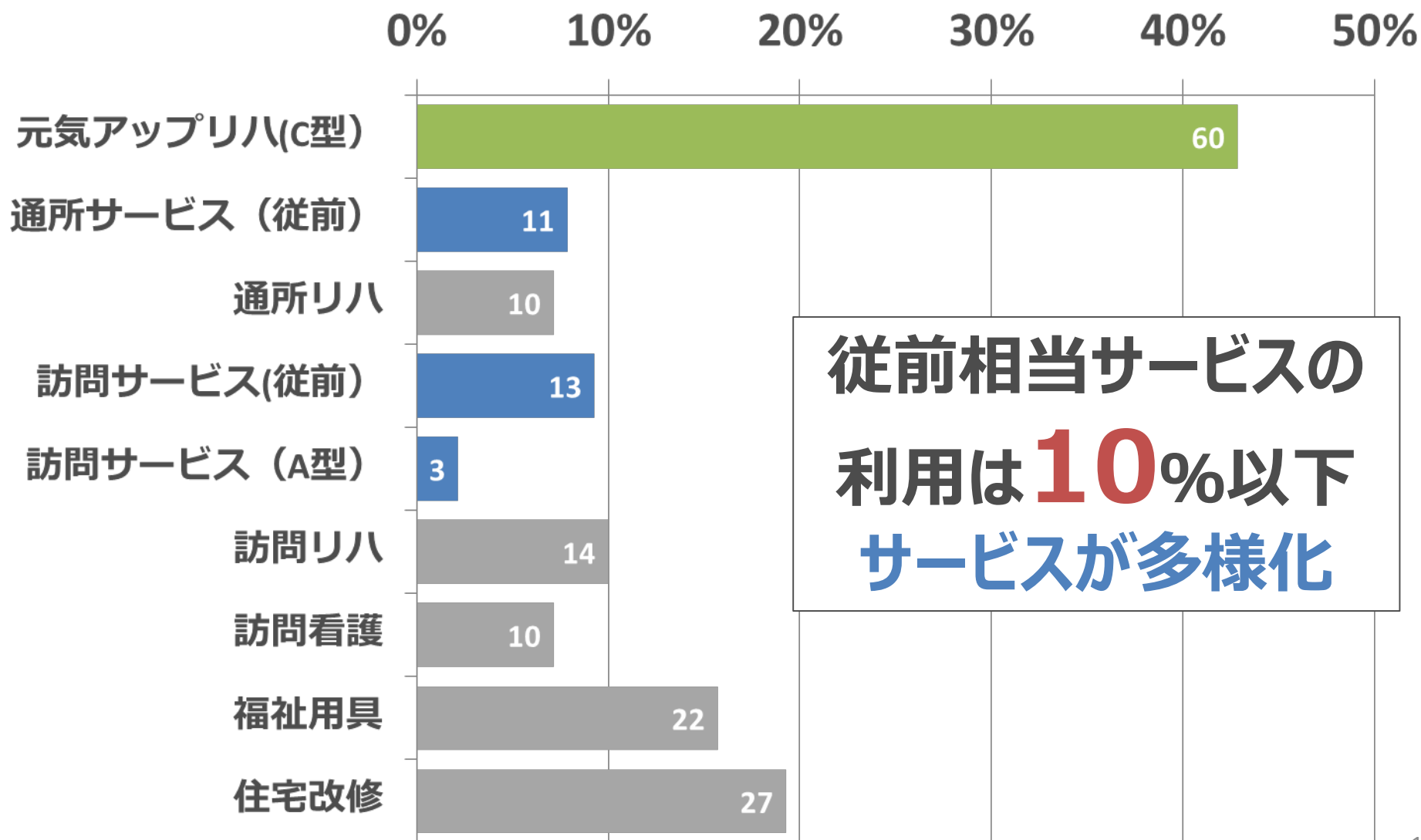


契約時の要介護度



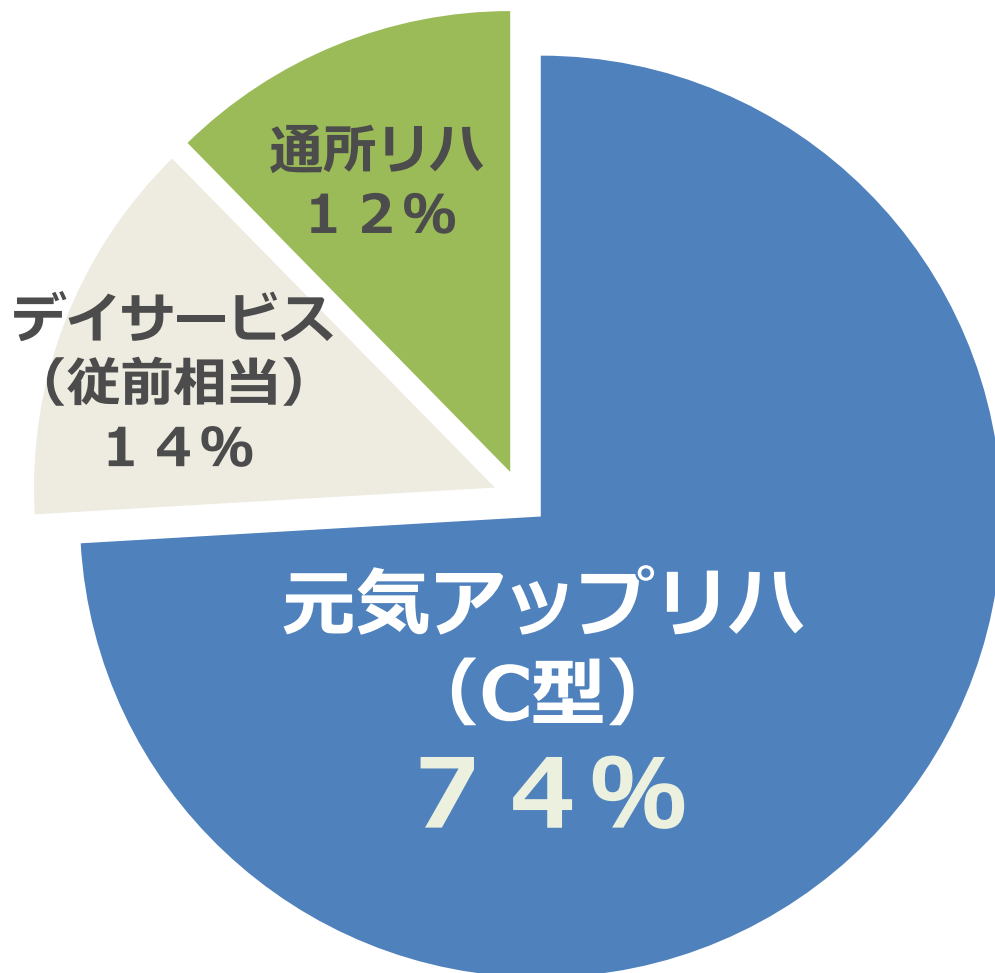
約60%が80歳以上、半数が要支援2

H29新規契約全ケースのサービス別受給率 (n=140)



H29新規契約ケースの通所系利用割合(n=81)

平成29年度中に包括が新規契約した利用者のうち通所系サービスを利用した者(81人)



通所利用者の
74%が
C型サービスを選択



目次

- 1 総合事業の実施状況
- 2 本市の介護予防政策の方向性
- 3 介護予防につながる地域づくり

豊明市における総合事業の支援イメージ

本人のもとの「ふつうの暮らし」に戻すための支援

一時的な
活動追加

PLUS 集中介入期(非日常)

元気アップ集中リハビリ (総合事業C型)
地域リハビリテーション活動支援事業



日常生活へ移行



BASIC 生活期(日常)

- ・まちかど運動教室・サロン
- ・普段の家事等の役割
- ・趣味、日課、友人つきあい
- ・市場サービスの利用
(フィットネスクラブ、ショッピング、娯楽、喫茶店、温泉、旅行)



以前の暮らし
普段していたこと
しなくなったこと

専門的支援Start

3~6Month

1Year

公的保険による専門的サービスとインフォーマルサービスを当初から併用で支援開始
暮らしの場における外出を促すことで活動量を増やし、普通の暮らしへ戻していく

豊明市における一般介護予防事業の政策イメージ

元のふつうの暮らしへ戻し、結果的に介護を予防する

① 通いの場 = 「暮らしの場」すべて

一般介護予防事業 ≠ 体操教室 日常生活の場すべて

② 日常の活動を取り戻す専門的支援

しなくなった活動を取り戻すこと、外出範囲を広げること

③ 暮らしを支えるインフォーマル支援

家事、余暇活動、外出などを行うための見守り、移動手段

PLUS 集中介入期 (総合事業 短期集中C型サービス)

元気アップリハビリ

3ヶ月から6ヶ月（週1～2回）、通いと訪問によるリハビリテーションにより、日常生活行為の自立と、終了後の活動量維持を維持する習慣の獲得により「日常の暮らし」に戻すことを目標とする

- 提供回数/全30回（訪問・通所）
- 実施場所/市内の医療法人（4箇所）



通所による機能訓練



通いと訪問を組み合わせた集中的リハビリサービス

元気アップリハビリ 施設案内

施設名	豊明市老人福祉会 豊明二老人保健施設	豊明市老人福祉会 豊明老人保健施設
施設写真		
運動先	専門スタッフが一人ひとりに合ったプログラムを実施します。	活力アップほせちゃん、認知機能も向上させる効果を期待しています。
TEL	0562-95-2110	0562-92-8411
FAX	0562-95-2297	0562-92-4774
担当	宇野・平田	宇野・森山
所在地	豊明市吉揚町榎原1番地	豊明市吉揚町榎原20-7
営業時間	9:00～17:30	9:00～17:30
サービス提供時間	10:00～11:30/14:00～15:30	14:00～15:30
休日	日曜日	日曜日
休定休日	4/8・12/1-GW 週休・年末年始	4/8・12/1-GW 週休・年末年始
送迎	○(無料)	○(無料)
オムツ代	別途必要	別途必要
食事費	—	—
備	懇話コーナーでドリンク提供(無料)	—
施設写真		

※施設A・Bには必ず一人1人1日の専任の介護士が常駐しスタッフが常駐しております。

企画にあたっては、豊明市リハビリテーション連絡協議会が、ミーティングを重ね、プログラム内容、評価方法等を協議して決定



訪問による自宅及び周辺環境での日常動作訓練

地域リハ活動支援事業の活用 「同行訪問リハ」

サービス開始前に、サービス導入により達成する生活目標の設定や、サービスのゴール設定を本人や家族と合意形成することが欠かせないが、ケアマネジャーだけでは荷が重い。契約なし（地域リハ活動支援事業）でリハ職がケアマネに同行訪問し、側方支援する。

暮らしへ戻す支援の目標設定と合意形成には ケアマネにも利用者にも「アテンダント」が必要

自立支援の合意形成に苦慮するケース



日常生活行為に関しリハ介入していないケース



リハ同行訪問



サービス利用にあたって適切なゴール設定と本人への動機付け

自宅・周辺環境や外出評価、目標の設定

民間サービスや福祉用具利用導入を支援

期間や目標が合意形成された保険利用となる

生活行為を獲得し日常の暮らしの場へ戻す



BASIC 生活期（一般介護予防）



まちかど運動教室（民間企業×地域共同型）

一般介護予防事業の柱の事業として平成28年4月より実施。
地元の集会所等を活用し、歩いて行ける場所に週1回（1時間）の運動プログラムを提供

●特徴

講師は民間企業から派遣、地域が教室を運営するという
行政・企業・地域の共同型で展開
事前申し込み不要、参加費無料、いつからでも参加可能

●役割分担

地元：地元の合意形成、会場の確保、会場費負担
世話人（鍵の開け閉め、運営補助）の確保
住民への周知（開催スケジュールチラシ作成・配布）
行政：民間インストラクター派遣、共通チラシ作成

平成30年度実績

会場数 16 地区23会場 参加者 平均15人～110人
年間延べ 713回 23,744人（平均34.7人/回）
本事業のみの 高齢者人口に占める参加率 4.5%

豊明市
高齢者一般介護
予防事業

まちかど 運動教室

お近くでみなさんと一緒に運動習慣と筋力を作りましょう!!

「老化は仕方ないこと」と覚えていませんか？

心身機能を低下させてしまう最大の原因は、「もう年だから」「おっくうだから」と身の回りのことや外出をしなくなることにあります。
まちかど運動教室をきっかけに、老化を防ぎ、健康で長生きできる心身をつくりましょう!

対象 おおむね65歳以上の方
（男女問いません）

場所 市内の地域の集会所・
公民館等（詳細は裏面）

内容 1時間程度のストレッチ、
筋力アップ体操
椅子に座ったままでも立った姿勢でも
可観です。

講師 スポーツインストラクター等
（介護予防運動指導員）

各地区情報：裏面参照

みなさんのお近くの「まちかど運動教室」に関するお問合せは
豊明市高齢者福祉課地域ケア推進係 ☎92-1261



住民
場づくり

×



民間
インストラクター

×



行政
予算・広報



高齢者が抱える生活課題の把握

免許を返納して、移動の足がないので、デイサービスをやめたらほかに行く場所がない。

買い物は自分の目で見て買いたい。でも、荷物を持って歩いて帰れない。

デイサービスなんか行きたくない。もとの元気な時の暮らしに戻りたい。

軽度者の「支援」こそ、介護保険だけでは難しい

- 廃用症候群からの脱却には、「活動的な生活」を送る必要があり、本人の「意欲」にかかってくるのが大きい。
- 本人の望む「家の外の生活」を提供ができなければ、エンドレスのデイサービス利用になる。
- 軽度者の自立支援型ケアマネジメントは、その人の生活スタイル、意欲までアプローチして、生活を成り立たせる「手引き」をしなければいけない難しさがある。



目次

- 1 総合事業の実施状況
- 2 本市の介護予防政策の方向性
- 3 介護予防につながる地域づくり

生活ニーズが分かってはじめて これまで見えていなかった「資源」が見えてくる

事例で磨かれた「勘」

昔カラオケが
好きだった

買い物したい
が、袋を持っ
て帰れない

送迎付きの
お出かけ先

自分で歩いて
行ける場

これ使えるかも



生活支援コーディネーター



地域のあらゆる資源を活用した「通いの場」



無料送迎バスで天然温泉が通いの場
楽の湯みどり店(株)ナカシロ



高齢者が毎日通う喫茶店での見守り
市内70店以上の喫茶店



お寺のお堂で、男性が多く参加する健康麻雀
曹源寺



自動車販売店の商談スペースで毎日体操
名古屋トヨペット(株)豊明店

こんなにあったのか！高齢者の困りごと

買い物

付き添い
代行



掃除・洗濯

換気扇、窓ふき
浴槽、トイレ
エアコン



ごみ出し

可燃、不燃
資源ごみ
仕分け
ごみ出し



食事の準備

下ごしらえ
調理
調理補助



庭・自宅まわり

草とり、水やり
庭木の簡単な枝落とし
観葉植物の株分け、
間引き
家庭菜園の作業補助



その他なんでも

敷物の交換
カーテンの取り付け
物置小屋の簡単な修理
突っ張り棒の取り付け
重い家具・荷物の移動
郵便物の投函代行
振込手続き
郵便物の仕分け
声かけ（服薬等）



外出同行

外出付き添い
通院同行
大学病院受診支援



協同組合が核となった住民主体の支え合いのしくみ 豊明市おたがいさまセンター「ちゃっと」



運営主体

南医療生協組合(事務局) ・ コープあいち ・ JAあいち尾東農協

事業内容

地域組織と一体となった「おたがいさまの輪」の復活
サービスではなく住民の互助活動として展開
ちょっとした困りごとを住民が手助けする
「互助」のコーディネート (30分以内250円)



サポーター登録人数 (平成31年4月現在)

211名

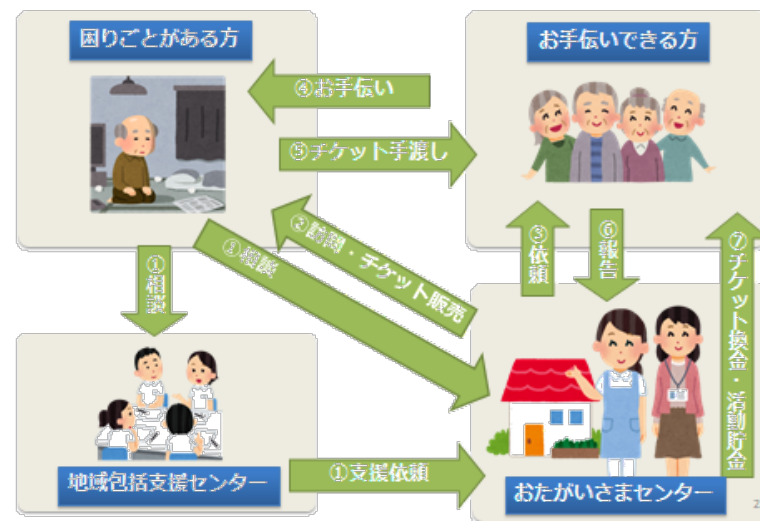
活動状況 (平成31年4月分)

利用者数 54名 (延べ227名) ※
活動サポーター 73名(延べ237名)

※参考

同月の要支援の従前相当訪問介護利用者数 51名

豊明市おたがいさまセンター「ちゃっと」のしくみ



H30おたがいさまセンターちゃっと 年間活動実績

活動時間 **1,868**件 延べ**2,136**時間

利用者

実人数 **158**名

うち要介護認定者

100名(63.2%)

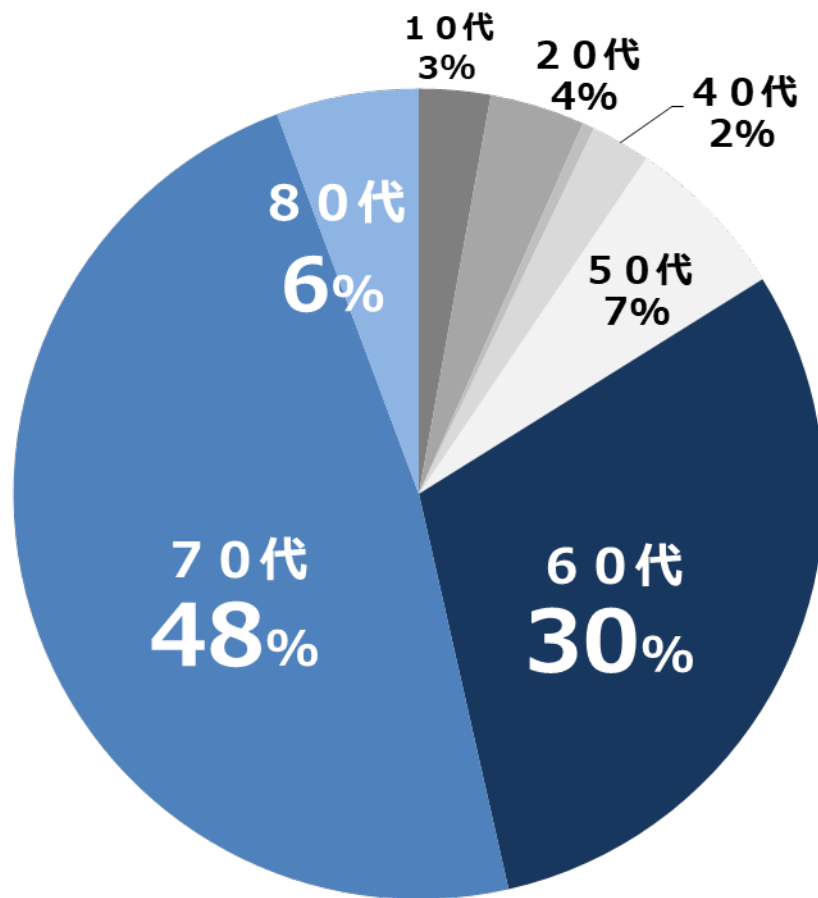
サポーター

登録 **198**名

うち活動者実人数

115名(58%)

サポーターの年齢構成からみる事業意義



サポーターの年齢構成

60歳以上が **8割**強

他者の生活支援×自身の介護予防



民間事業者との協議・保険外サービス創出促進協定

平成29年2月以降、計14社と締結済み。

行政の役割：連絡会議の開催、住民への周知

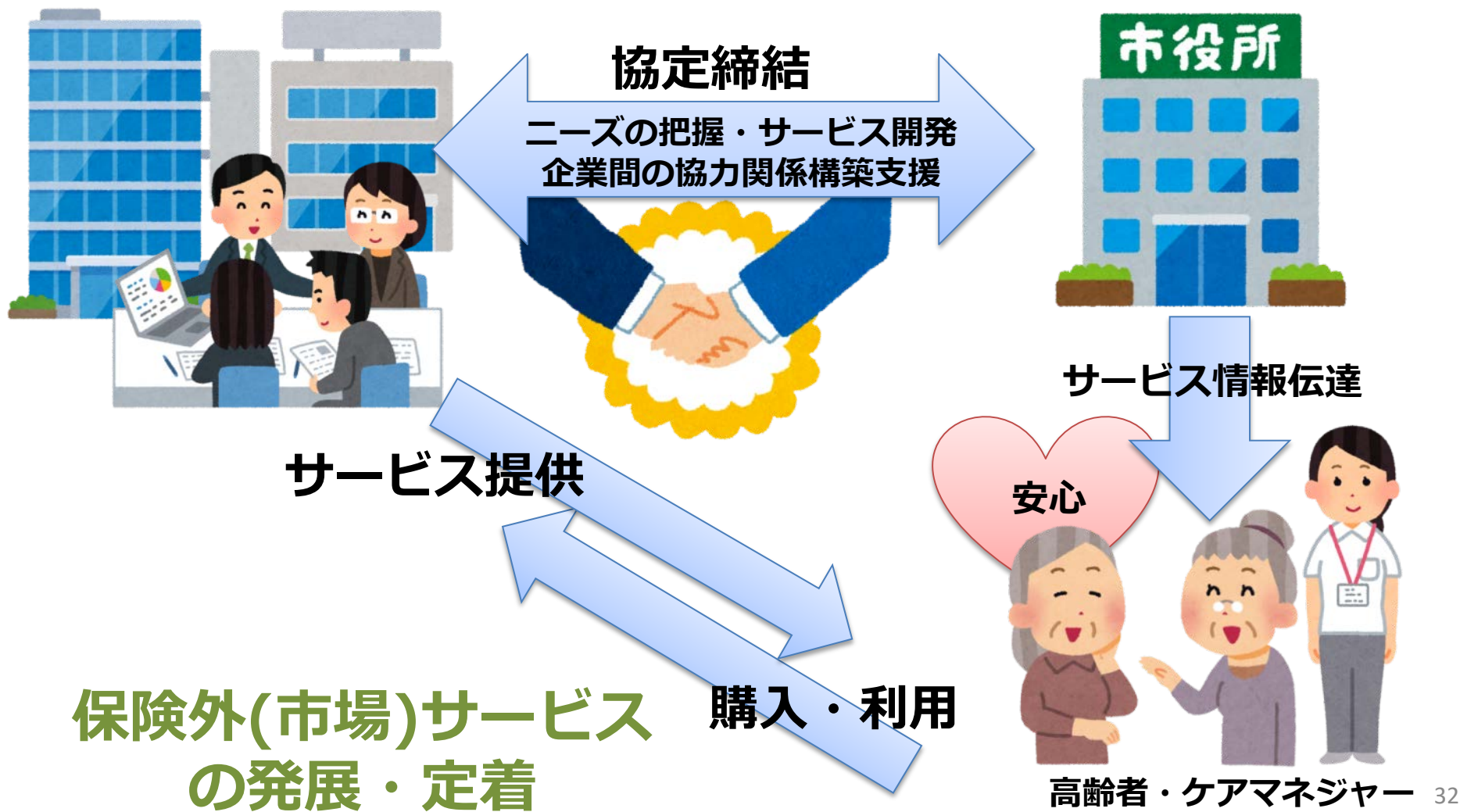
事業者の役割：高齢者のニーズ把握、サービスの創出

事業者名	サービス
アイエムメディカル株式会社 FITNESS PARK5	フィットネス・健康講座
生活協同組合コープあいち	購入品無料配送
株式会社コパン コパンスイミングスクール豊明	介護予防教室
株式会社KOMOKA ダスキンホームインステッド三河安城ステーション	生活支援・家事援助
株式会社だるま Curves前後駅前店	フィットネス・健康講座
株式会社東海第一興商 カラオケクラブDAM	介護予防教室
株式会社ナカシロ 楽の湯みどり店	無料送迎バスによる外出支援・入浴・健康づくり
株式会社中西	お片づけ・生活支援
森永乳業株式会社中部支社東海支店	健康教室
株式会社スギ薬局	簡単お掃除、高齢者雇用
株式会社コナミスポーツクラブ	シニア向けプログラム「oyz」
株式会社宮地楽器	YAMAHA青春ポップス
アイシン精機株式会社	健康増進のための乗合い送迎
中外製薬株式会社	フレイル対策



民間企業による 高齢者向けサービスの開発

自治体による サービス創出・活用支援



保険外(市場サービス)の活用における課題

民間企業が高齢者の「生活実態」や「しづらさ」「使いにくさ」を理解していない

例えば・・・



設備・環境

急すぎる階段
手すりがない
滑りやすい床



チラシ広告

字が小さい、
情報量が多すぎる



申込方法

手続きが面倒
書類が複雑



サービス

声かけ、サ
ポートが足り
ない



市職員、地域包括支援センター、理学療法士らとスポーツクラブの設備を確認

- ・トレーニング機器の負荷は
- ・階段の昇降は可能か
- ・スタジオプログラムは参加できそうか
- ・どういうPRが有効か



民間企業と連携し創り出す多様な「通いの場」



温泉施設で理学療法士による健康講座
楽の湯(株)ナカシロ



カラオケボックスを利用した体操教室
(株)東海第一興商



インストラクターによる体力測定
Curves前後駅前店(株)だるま



専門職による健康チェックと体操で薬局を通いの場に
(株)スギ薬局 豊明三崎店・沓掛店

地域の民間企業が共同で創る「通いの場と手段」 高齢者の通いの場をつなぐオンデマンド型乗合送迎



スギ薬局

AISIN



豊明市
TOYOAKE CITY

アイシン精機株式会社

体操に行きたい

買い物に行きたい!

お見舞に行きたい

カラオケしたい!

スポーツクラブ



病院・診療所

高齢者が希望する行き先と時間を受け付け、乗り合いで送迎をするサービス「チョイソコ」



公共施設



カラオケ



習い事



スーパー



温泉施設



チョイソコが目指すもの 通いの場と通う手段を地域ぐるみで創り出す

高齢者の外出促進のプラットフォーム

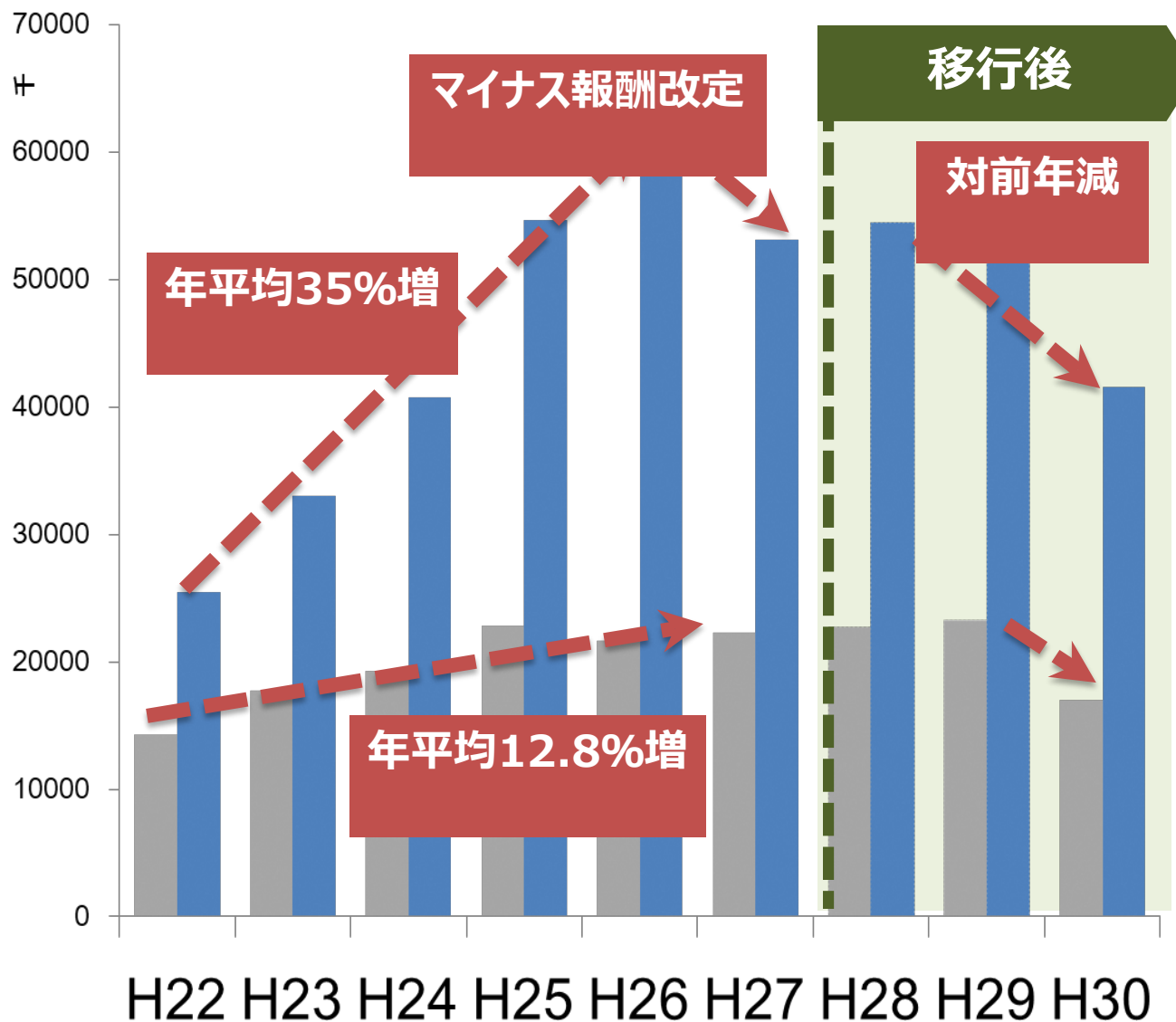


- ・外出のハードルを下げることで、**外出機会が増え、介護予防・健康増進**に貢献
- ・近所の方と**顔合わせの機会**が増え、自然に**地域のつながり**が生まれる

- ・地域のタクシー会社と提携し運行することで**既存公共交通とwin-win**の関係を築く

- ・“**通いの手段**”確保による高齢者の**固定客確保**
- ・高齢者向けの**新たな販売促進企画**

総合事業移行後の訪問・通所サービス費の推移



H30年度給付費

通所サービス

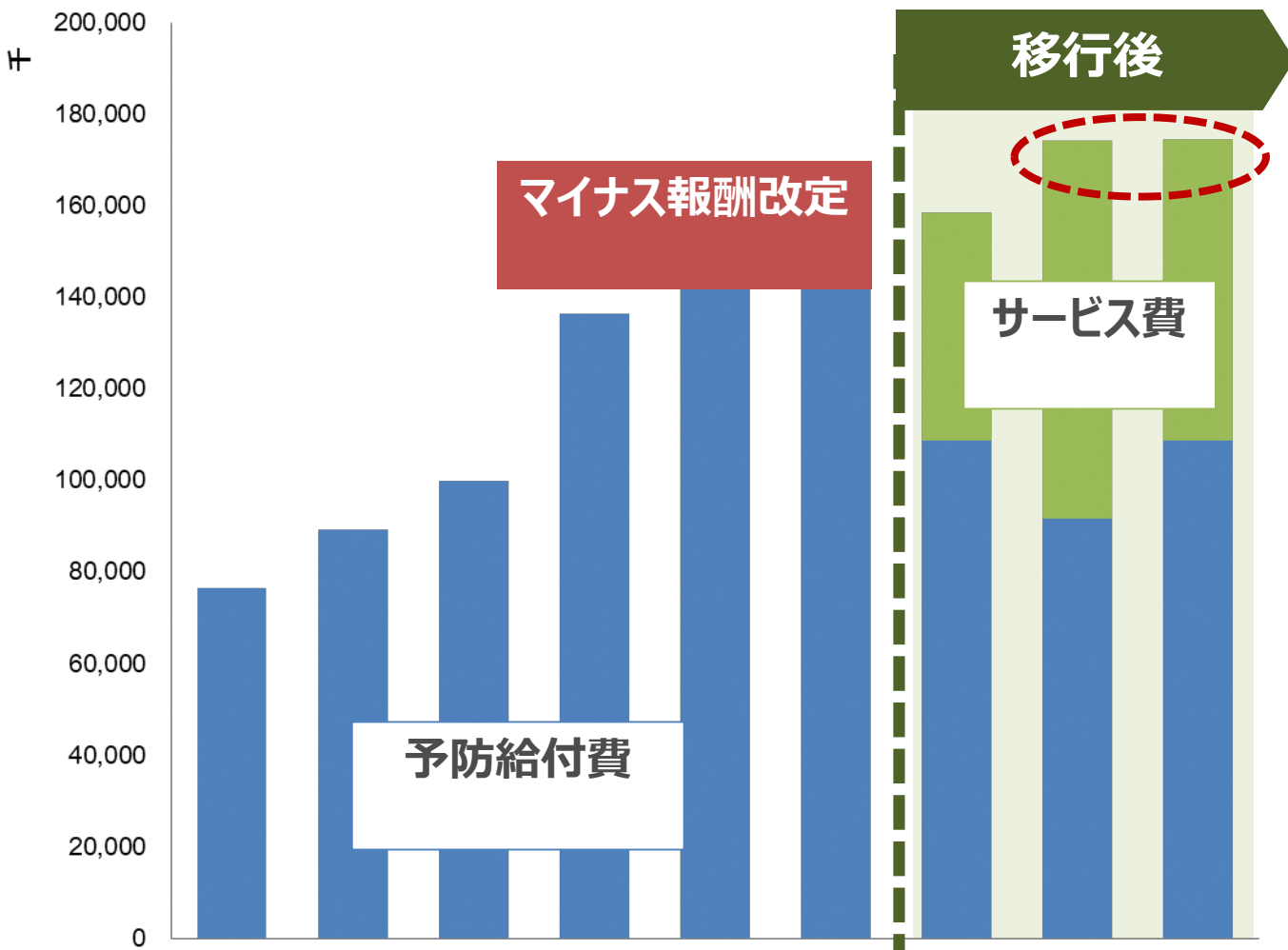
移行前年(H27)比
-21.7%

訪問サービス

移行前年(H27)比
-23.7%

支援やサービスが
 多様化し
 利用が分散された

総合事業移行後の介護予防給付費全体の推移



H30年度給付費

予防給付・サービス費

対前年比

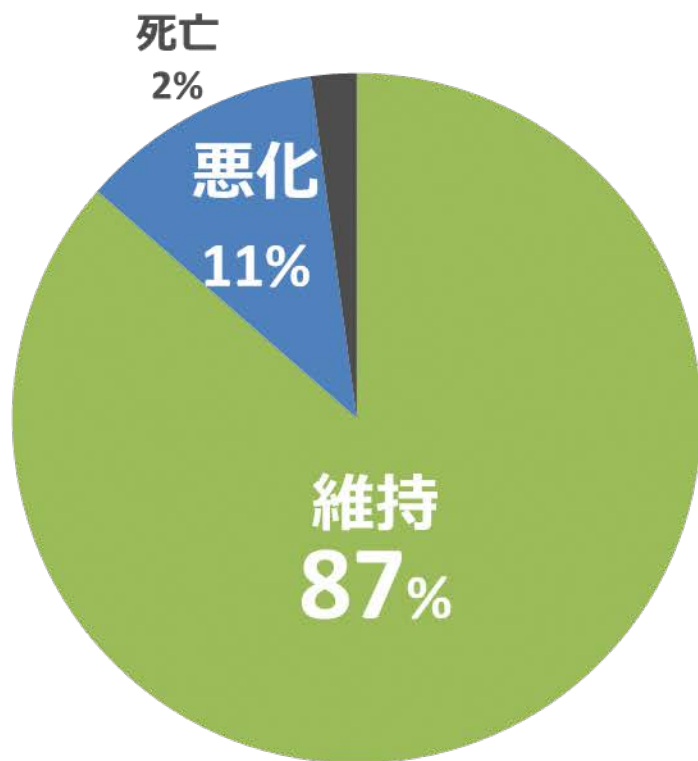
+0.16%

要支援全体の
給付費の伸びが
初めて止まった

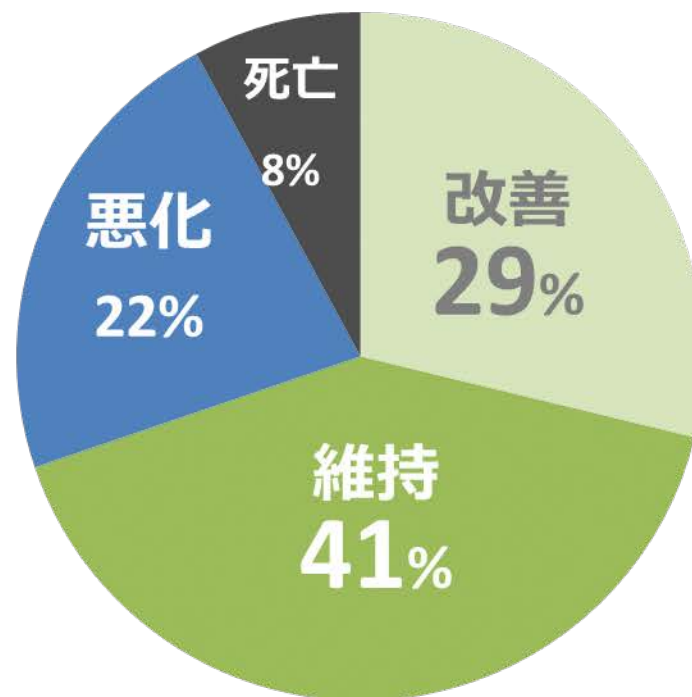
H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30

H29新規契約全ケース 1年後重度化率 (n=140)

半年後の評価



1年後の評価



70%が維持・改善 総合事業開始前より大幅改善

豊明市が実施しているEBPMに基づく介護予防事業

3つの軸により「介護予防の効果」と「政策の妥当性」を評価

①個別評価（ハイリスクアプローチ）

- ・対象者 総合事業通所サービス修了後、一般介護予防事業へ移行し、**専門職の支援を離れた方**
- ・実施方法 C型サービス事業所での外来による**個別定期測定**※（概ね6か月おき）
※体重、筋力量測定、体力測定（握力、歩行速度、TUG等）、HDS-Rなど

②集団評価（ポピュレーションアプローチ）

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査（**悉皆調査**※）の**経年変化**

※前回H28.12実施：調査対象数14,844人 重点指標：外出頻度、参加・交流頻度、主観的健康観・幸福感

③政策評価

KPI：要支援者サービス別受給率、**5歳階級別要介護認定率の経年変化**
介護予防給付費等の**伸び率**、要支援者サービス利用**1年後重度化率**等

豊明市が目指す地域包括ケアの方向性



できるだけ本人の「ふつうに暮らせるしあわせ」を支える
そのために役立つものを見つける、探す、無ければ創り出す





豊明市 健康福祉部 健康長寿課
E-mail : chiikikea@city.toyoake.lg.jp
TEL : 0562-92-1261
豊明市新田町子持松1番地1
<https://www.city.toyoake.lg.jp/>